（参考）箕面公園の植生リスト

場　　所	植　　生	観察に適した時期			観察のポイント等（一例です） ＊季節に応じて各自で・・
		５月	９月	１２月	
駅南広場	（街路樹）				時間調整用、クスノキ、ユリノキ(半纏木)など
商店街	ヒメイタビ	○	○	○	クワ科、葉柄をちぎると乳液がでる。葉先が鈍い。
	ケヤキ	○		◎	２段に開葉。果実は小枝ごと落ちる。
	ジンチョウゲ(沈丁花)	◎			三大香木、香りのよい花を早春に咲かせる常緑樹
	レッドロビン	◎			芽吹き、新葉が赤いのが特徴
	シラカシ	○	○	○	葉は上半部の縁に鋸歯あり、アラカシより細長い
	ツタ(ナツヅタ)		△	◎	紅葉、落葉（離層の位置）、
	チャセンシダ	○	○	○	石垣などに生える常緑シダ、楕円形の単羽状複葉
	キンモクセイ		◎		涼しさを感じて開花、雄木のみ移入
	オオモミジ	○	△	◎	葉の形状、翼果、紅葉の仕方、
	イロハモミジ	○	△	◎	上記と比較、
スパ･ガーデン入口	箕面市の保存木				
	ケヤキ	○		◎	保存木とは、巨木の定義
	アメリカイヌホウズキ		◎	○	散状花序、果実は光沢のある黒色に熟す
少し上流	センダン	◎	○	◎	名の由来、果実
	イヌビワ	○	○	○	イヌビワコバチとは授粉と産卵で共生関係
	ムクノキ	△	○	◎	果実、葉は自然のサンドペーパー。
	トウネズミモチ	△	○	◎	公害に強い、葉脈、果実
	アオギリ	○	○	○	名の由来、平和のシンボルツリー
笹川像付近	キヅタ（フユヅタ）	○	○	○	アイビー、グランドカバー、常緑、菱形～3分裂(先丸い)
	マメヅタ	○	○	○	葉は栄養葉と胞子葉の二型あり
	アカメガシワ	○	○	○	パイオニアプラント、順次開葉、
一の橋付近	ビワ	△	○	◎	花期は秋、11月ごろ見られる
	ワジュロ	○	○	○	古くから生活に利用、
	アリドオシ	◎	○	◎	一両、花と果実、細い棘
聖天橋付近	センリョウ	△	△	◎	千両、秋に多くの赤い果実が目立つ。枝先に上向き。
	サザンカ	△	△	◎	秋から冬に開花、白花とピンク花あり
	コウヤマキ	○	○	○	線状の葉が輪生状につく、高野山では供花の代用
	マンリョウ	○	○	○	万両、果実は下向きにつく、センリョウは上向き
昆虫館まで	オオバノイノモトソウ	○	○	○	シダ植物、翼なし(翼があるのはイノモトソウ)
の河岸道	カテンソウ	○	○	○	花点草、イラクサ科で匍匐茎を出して群生
	ホソバタブ	○	○	◎	冬芽は頂芽のみ、葉の縁が緩く波打つ。
（売店）	シホウチク	○	○	○	簡の形状、タケノコは秋
	イタビカズラ	△	△	△	葉先が長く伸びて尖る。葉柄をちぎると乳液が出る
	カギカズラ	○	○	○	鈎(2本･1本の順)をひっかけて樹冠に。カズラ:つる
	トウチク	○	○	○	唐竹、節と節との間が竹の中で最も長い
	ヤブムラサキ	○	○	◎	ムラサキシキブとの差、葉、果実
	ヤマハゼ		△	△	下記と小葉の付き方比較
	ヤマウルシ		△	△	上記と小葉の形、葉の付き方比較
	アクシバ		◎	○	灰汁柴、花期は初夏、
	リンボク		○	○	橡木､花期は初秋､古代シダ類のリンボクとは無関係
	ベニシダ	○	○	○	２回羽状複葉のシダ類、裏側の包膜は紅紫色
	オカメザサ	○	○	○	笹ではなく竹の一種、えびす神社等で使用の竹竿
	ナンテン		○	◎	南天、３回３出羽状複葉で赤い果実が秋に目立つ
昆虫館横	サンカクカタバミ			○	三角形の葉で品種名オキザリス トリアングラリス
	ミズヒキとハナタデ			○	花序を比較、ハナタデの方がまばらで薄い色
	カクレミノ	○	○	○	異形葉、グーチョキパーの木
	クロガネモチ		○	◎	雌雄異株、雌株
	チャノキ	△	△	◎	花、葉脈に特徴
	アカメガシワ	○		○	葉にアントシアンを持つ、
瀧安寺・	ラカンマキ	○	○	○	イヌマキに比べ葉が細く短い。葉先垂れない。
弁財天前	キハダ			○	ミカン科。薬用植物、陀羅尼助。
（公園トイレあり）	カゴノキ	○	○	○	成木の木肌
	イヌマキ	○	○	○	マキ科。雌雄異株。
	（オオモミジ）			○	紅葉種と黄葉種の両方あり
	トウネズミモチ	○	○	◎	公害に強い樹、
	ヤブニッケイ	○	○	○	葉に虫こぶ、ニッケイハミャクイボフシ

場　　所	植　　生	観察に適した時期			観察のポイント等（一例です） ＊季節に応じて各自で・・
		５月	９月	１２月	
橋を渡り左岸道	カイノキ	○	○	○	庭園内、偶数羽状複葉
	ヌルデ	○	○	◎	奇数羽状複葉でザラザラ、虫コブは五倍子(染料)
	（ドイツトウヒ）	△	△	△	欧州原産、若木は枝が斜上
	シラキ	○	○	○	灰白色の樹皮で、葉や枝を切ると白い乳液が出る
	コアカソ	○	○	◎	低木、対生で大きな鋸歯、集合果で果穂を形成
	ヤマコウバシ	○	○	◎	冬季に枯葉を残す。雌株のみで結実。
	カラスザンショウ	△	△	△	大木、果実あり。クロアゲハ等の食草にもなる
	ユキノシタ	△	△	△	常緑の多年草、葉裏は全体に暗い赤みあり
	チャノキ	△	△	◎	白い花、葉脈に特徴
	マツカゼソウ	△	△	△	松風草、３回３出羽状複葉、鹿が食べない
	ヤブニッケイ	○	○	○	葉に虫こぶ、ニッケイハミャクイボフシ
	カゴノキ	○	○	○	鹿子の木、斑模様にはがれた樹皮に特徴
	サザンカ	○	△	◎	箕面の谷に多い、植栽か？
	ミズタビラコ	○	○	◎	湿った山道の足元注意、可憐な白い花を咲かせる
	クマノミズキ	○	◎	○	落葉広葉樹、冬芽はとがって筆先のよう
	ウラジロウツギ	○	○	○	葉の裏に毛があり白く見える、実はウツギより小ぶり
	キブシ	○	○	○	果実、秋には冬芽（花穂が垂れている）
姫岩周辺	ケケンポナシ	△	○	○	落葉高木、果実が熟すと果柄が太く肉質に膨らむ
	イヌガシ	○	△	△	クスノキ科の常緑高木、葉に三行脈あり
	コバンノキ	◎	○	○	羽状複葉にも見えるが、互生の小判型の葉が特徴
	ヤブムラサキ	○	○	○	葉は有毛でビロード、果実(対比 ムラサキシキブ)
	アカメガシワ	○	○	○	パイオニアプラント、順次開葉、
つるしま橋	アカシデ	○	○	○	木肌、コンクリートの木
	ニガキ	○	○	○	互生、奇数羽状複葉で黄葉、冬芽は赤いゲンコツ型
	リンボク	○	○	○	橉木､花期は初秋､古代シダ類のリンボクとは無関係
	アメリカイヌホウズキ	○	◎	○	散状花序、果実は光沢のある黒色に熟す
	コアカソ	○	○	◎	低木、対生で大きな鋸歯、集合果で果穂を形成
修業古場	マルバマンネングサ	○	○	○	丸葉万年草、常緑多年草、発見者は牧野富太郎
	ヒヨドリジョウゴ	○	○	○	つる性多年草、液果は赤色に熟す
	タマミズキ	△	△	◎	落葉の後も赤い果実が美しい
	モミ（大木）	○	○	○	箕面の森の極相林・構成種のなごり
右岸滝道	ヒメウズ	○	○	○	春先に白い花、葉は2～3に裂け葉裏は暗赤紫色
箕面大滝まで	エゴノキ	○	○	○	落葉高木で幹は細い、花は春に枝から垂れ下がる
	クマノミズキ(若木)	○	○	○	落葉広葉樹、若木は二次展葉中だった
	ニガキ	△	○	○	互生、奇数羽状複葉で黄葉、冬芽は赤いゲンコツ型
	ベニバナボロギク	△	○	○	一年草、俯いた蕾が赤く開花した後に起き上がる
	クサギ	○	○	◎	落葉樹、秋に赤い萼の上に丸い実が藍色に熟す
	サネカズラ	△	△	◎	赤い液果が球形に集まった特徴ある果実
	チャノキ	△	△	◎	白い花、葉脈に特徴
	ホトトギス	△	△	◎	秋に開花する多年草、特徴的な花で種類も多い
＜昼食休憩＞	シュウカイドウ	△	△	◎	秋海棠、秋に開花して球根で冬を過ごす
右岸滝道	ジャケツイバラ	△	△	△	互生の偶数2回羽状複葉、鋭く丈夫な逆刺をもつ
帰路	ホソバタブ	○	○	◎	冬芽は頂芽のみ。葉の縁が緩く波打つ
	ナナミノキ	△	△	△	モチノキ科の常緑高木、赤い実をつける
	コウヤボウキ	○	○	◎	1年枝、2年枝の葉序、花は1年枝の先。
（トンネル）	ツガ	△	△	△	極相林のなごり？
	シラキ	○	○	○	灰白色の樹皮で、葉や枝を切ると白い乳液が出る
	イタビカズラ	△	△	△	葉先が長く伸びて尖る。葉柄をちぎると乳液が出る
	ウラジロウツギ	○	○	○	葉の裏に毛があり白く見える、実はウツギより小ぶり
瀧安寺・	ヒマラヤスギ	△	○	○	スギ（ヒノキ科）にあらず
弁天堂	ハナズオウ	◎	○	○	マメ科、早春に開花して秋には豆果が褐色に熟す
	オガタマノキ	○	◎	○	神社で使う神楽鈴に似た果実の形に特徴
	ゲッケイジュ	○	○	○	雌雄異株、花期は早春、ローリエ
	ボダイジュ	○	○	◎	花、果実，ヘラ型の苞につく
※解散					
	（駅まで自由観察）				

＊観察会当日の樹木については、実施時の状況に応じてこの表に捕らわれず観察してください。